

西京区に住む人、働く人、訪れる人の小さな愛読書

<https://www.facebook.com/nishikyojikan/>

vol.03
春号

2018
TAKE FREE
無料

nishikyo-jikan 西京じかん



いま、このまちで過ごす“じかん”
いままで、このまちを育てきた“じかん”
これから、みんなであつっていく“じかん”

西京じかん

2018年春号 ●発行日 2018年3月15日 ●発行元 西京じかん編集部 ●発行責任者 林佳代子
●〒610-9265 京都市西京区山田町通船場 3-337 ●E-mail nishikyojikan@gmail.com
●FAX 075-320-2597 本誌記事の無断転載を固く禁じます。掲載した情報は現行の状況に基づいたものです。




北春日モデルハウス



宇ノ山モデルハウス

風土に調和した家づくり

 株式会社小野建築設計

〒610-1123 京都市西京区大原野上里南ノ町10番地

TEL . 075-335-2254

今年はどうなことをしようか
こんど西山に登ってみよう



収穫したもち米でついたお餅は
柔らかくておいしかったな



あぜに咲いた燃えるような彼岸花の色
高くなった青空に映える、黄金色の稲穂



夏の木工教室でつくったミニカー
のこぎりで削った時に立ち上る木の匂い



まだ雪がちらつく季節にやってくる
もうすぐ一年を迎えようとしている

大枝・大原野暮らし



会社HPで
イベント情報を
更新中!

おのファーム
会員登録集中
です



www.ono-k.com

「区民の誇りの木」

は見に行かねば。三之宮神社（桂大徳寺町）のクスノキ、見事です。



第二村猫発見。



いいお天気で気持ちいいですね。お散歩中のTommyさんとフレンチブルドッグのななちゃん(2歳)。ななちゃんは人が大好き。カメラ目線もばっちりです。

桂徳～桂東あたり



第一村鳥発見。



第一村猫発見。



西京区の日常に会いたくて、ダー！いや吹き矢の刺さった場所に出かける「吹き矢の旅」手製の吹き矢、今回刺さったのはここです！

西京吹き矢の旅



桂離宮の子ケツがケツでできず入れなかったそう。かわりにバグカフェに向かうところなでした。左 Leila Carrilloさん (36歳 カリフォルニア) 右 Jennifer Tallonさん (36歳 ニューヨーク)。



編集部も麦代餅ときんつばを購入し、川に戻って帰ろうとすると、川べりを歩いているお二人に遭遇。



中京区から「中村軒」の和菓子を買いに立ち寄ったヤマさん。



静かな住宅街と観光地が隣り合っています。桂離宮の見事な紅葉の前で出会ったのは、地元の中原 健次さん(84歳)。「すぐその喫茶店で高校の同級生たちとお茶をして帰るところですね。毎日集まってしゃべってますわ」元気の源ですね♪



▲まずは吹き矢が刺さった場所へ。阪急京都線が桂川を渡るのが北に見える、多分このあたり。向こう岸は西京極です。

「西京 吹き矢の旅」次はいずこへ???4号につづく?



音楽科有志による「芸bar沓掛」。
左 声楽 Aさん(22)、右 オーボエ 泉佳穂さん(21)
赤ワインと白ワインをブレンドして作られた、青ワインがおすすめだとか…



ベーコンエッグたい焼きモグモグ
左から後藤 信子さん(82)、平野 トシ子さん(82)、トシ子さんのお孫さんの平野 拓人君(16)
拓人君のお姉さんが陶芸を専攻中。



大阪から来た友達同士3人組
左からAさん(23)、ななみかんさん(23)、Mさん(23)。
Mさんが芸大生。版画専攻でこの日は雑貨屋さんの模擬店HANGER BLOOM出店。「角煮饅が美味しかった!」



芸大生有志が創刊した漫画雑誌「パンジ」絶賛販売中!
左から日本画専攻 大槻 拓矢さん(28)、ビジュアル・デザイン専攻 雨田 伴慈さん(22 編集長)、プロダクト・デザイン専攻 藤山 智也さん(23)
雑誌のタイトルは編集長の名前の伴慈(ばんじ)から。クラウドファンディングで寄付を募り創刊されました。



陶磁器専攻 森野 彰人准教授(48)
毎年3回生の企画で、この先生がドラム缶で焼くピザ屋をオープン。先生は火から離れられず、前日は350枚弱焼いたとか。このドラム缶窯、かなり目を引き人気です。今年はマルゲリータと照り焼きチキン。とっても美味しかったです。



角煮饅、編集部も食しました。玉屋というサッカー部のお店で、なんと二階建て!!しかも二階には炬燵が!!さすが芸大生。風も強く寒かったので、温まった~(*´ー`)



滋賀県から参加の仲良し母娘 お母さんとあおちん(14)
「お姉ちゃんがトランペット専攻の芸大1回生で、ステージを見に朝から来ています。私も部活の吹奏楽でホルンをしています」

11/4

芸大祭



©Kuwa.Kusuで活動。詳しくはこちら



桑田知明さん(29)と ショウオさん



楠麻耶さん(28)と オオさん



「わくふわおめん」の模擬店営業中～
左からプロダクト・デザイン専攻のだいちくん(21)、かいどうくん(20)、しおりちゃん(23)、吉田 朝麻先生(33)
「わくふわおめん」とは、塩ビ版を砕にはめ、掃除機で吸い形成してつくってお面なのです。吉田先生は「マッスルNNTなどズ」というバンドで音楽活動も♪

北川えいるちゃん(6)1年生
近所なので自転車でお母さんと将棋教室の帰りにやって来ました。「毎年来ています。限られたスペースでこんなに出来るんだ!と刺激を受けます」とお母さん。

まちかど 笑顔図鑑

西京区のみなさんの笑顔、笑顔、笑顔を集める笑顔図鑑。今回は、京都市立芸術大学の「芸大祭」にお邪魔しました。



西京のまち、人が集まってなにやらやっちゃってらっしゃれば、のぞいてみたくなる「西京じかん編集部」。今回は、松陽学区を中心に活動している「オー・フィールド ウクレレ&フラ」さんの練習会にお邪魔しました。

ウクレレ教室に、フラダンス教室も自然発生！

厳しい寒さが続いていた1月某日、練習場所にお邪魔すると、カラフルなパウスカートで、南国ムードのメロディーに合わせて踊る皆さんの姿が。寒かったことも忘れ、ちよと陽気な気分でお話をお聞きしました。



▲ 合わせ練習の風景。皆さん表情が素敵です！

普段は前半・後半でそれぞれウクレレ・フラダンスの練習時間となりますが、この日は松陽学区の新年会で披露する演目の、ウクレレとフラダンスの合わせ練習の日。メロディーに合わせて歌い、踊る皆さんの表情はとってものびやかで、見て

いるこちらも踊りだしたくなってしまうような、朗らかな雰囲気がとても魅力的です。教室でウクレレの先生を務める古田博久さん(83)は20才くら

いまでハワイアンバンドをやっていた経験があり、ウクレレだけでなく音楽や楽器の腕前が活躍の場がありました。すると偶然、集まったメンバーでフラダンスを踊れる人が3人もいたことから、「ハワイアの曲なら踊れる！」といつか、合わせて練習をするように。練習開始から4年ほど経ち、メンバーは12人に。長く続けているのは、フラダンスと一緒にやるから「なんだとか。現在は年に数回、松陽学区のイベントなどで発表の場を持ちながら、「好きなように、楽しく活動しています。」



▲ イベントの際は楽器を使うこともあるそう。



▲ 新年会での発表風景。

「こころ」喜びを皆で共有

皆さんのお話を聞いてみると、別々の場所でも知り、参加するようになったという方が何人も。「一流の先生から、高度なことを学べる(田路さん)」「1つずつ丁寧に教えてもらえる(池田さん)」といった熱心な声や、「色んな教室に行っただけで、ここが一番好き(堀さん)」といった、この場所

で皆でやれることが楽しい、という声がたくさん。「楽器は初心者でしたが、新しいチャレンジでも少しずつできるようになっていくのが嬉しくて」と堀江さん。自分のペースで楽しく続けていけるからこそ、笑顔あふれる練習風景なんですね。

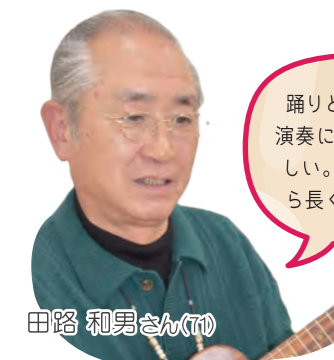


ウクレレ先生



古田 博久さん(83)

ウクレレはリズムが重要！みんなで好きなように、楽しく活動しています。



田路 和男さん(77)

取りまとめ役



都 永子さん(69)

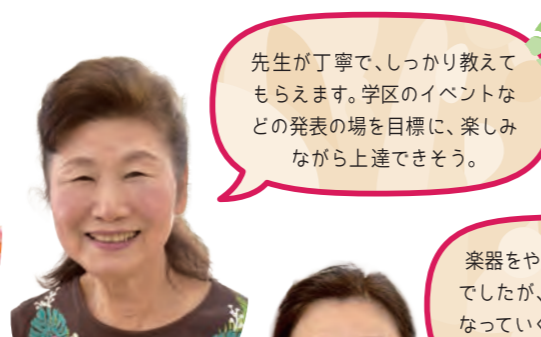


長谷川 福子さん(79)



池田 恭子さん(76)

70歳になって初めて音楽を始めました。自分には縁のないことだと思っていたので、できることが嬉しく、楽しんでいます！



松山 八重子さん(72)



堀江 友子さん(63)



堀 yasuko さん(77)

2016年の1月から参加しています。フラダンスは3年ほどやっていたけれど、みんな上手でびっくり。ここが一番好きです！

先生が丁寧で、しっかり教えてもらえます。学区のイベントなどの発表の場を目標に、楽しみながら上達できそう。

楽器をやるのは初めてでしたが、できるようになっていくのが嬉しくて。仲間を楽しんでいます！

新井 理恵さん(52)

フラダンスは8年目。堀江さんと別の教室で出会い、参加するように。笑顔と表現力をもっと磨きたい！



このまちの景色を守り、歴史をつなぐ人たちがいます

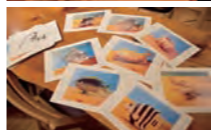
西京たからもの図鑑

大きな屋根の下で、みんながいつでも集まれるように。



榎原盆山の隠れ家 美山杉の本格ログハウス

榎原中学校から歩いて約15分、バス停「三ノ宮」のわき道を上がると見える大きなログハウス。ここが「ルーフファミリー」だ。オーナーの小石さんご夫妻は、38年前にこの地に引っ越してきた。地元のテニスクラブへ通っていたお2人は、仲間が集まっていたでも楽しめるようにと、敷地内にテニスコートを一面造設。8年前に廃業するまで、この場所のでテニスクラブを運営してきた。「ルーフファミリー」はそのクラブハウスとして建てられたものだ。外観からして立派な丸太には、70〜80年もの美山杉が使われており、独特の存在感を放っている。



上 丸太は人の顔を上回る太さ。
下 潮さんの作品集！

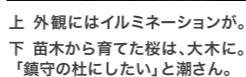
多くは潮さんのお手製だ。屋内には様々な魚をモチーフにした彫り物が飾られており、思わず目を引く。「廃材をカッターなどで削って作ります。釣りが趣味で、どんどん増えていって」丸太の空間を魚たちが泳いでいるような景色はなんだか幻想的だ。

たくさんの時間を みんなで共有してきた

「オープン時には、民族楽器のプロの方をゲストに招いて、かがり火を焚いて野外ライブを行った。40〜50代の頃、この場所で大くさんのことをしてきた」と潮さんは話す。ご夫婦ともにイベントが大好きで、テニス大会にとどまらず、季節ごとにBBQや小さなパーティーをしたり、気の合う仲間と楽しんできた。そのうち、主婦の方々による手作り市や、若手作家による陶器市、芸大生によるジャズやタップダンスなどのパフォー



上 水族館のように多種多様な魚が。
下 大きくて立派なクロダイ！



上 外観にはイルミネーションが。
下 苗木から育てた桜は、大木に。「鎮守の社にしたい」と潮さん。

西京たからもの景色

ルーフファミリー

ルーフファミリー

京都市西京区榎原盆山 15-5
075-392-4566
不定休：貸しスペースの料金などは応相談



絵と文 阿部 夏希

「ルーフファミリー」を守る小石夫妻
〈左:和子さん(66)、右:潮さん(69)〉

西京めし



西京区の食材を使ったお料理を「西京めし」と勝手に名付け、お料理上手な西京区の方に作っていただきレシピも教えていただきます。

第2回目は、大原野神社境内にある「春日乃茶屋」を切り盛りする久井二三重さんに、名物「よもぎ団子」の作り方を教えていただきました。

今だから伝えたい、面倒くさいこと

大原野には、豊かな自然の恵みを活かした美味しいものがたくさんありますが、よもぎ団子もその一つ。

「昔からこのあたりのおばあちゃんたちが、作っては売っていたよもぎ団子。今は団子とお餅の違いも知らない人がいて、これはあかんと思ってお店でも作り始めました。

京都のよもぎ団子の特徴は、お百姓さんそれぞれの家で受け継がれてきた「型」を使って模様をつけること。うちの型もおばあちゃんが使っていたものです。

私が子どもの頃は、家族総出でお餅つきなどをして、子どもにもおばあちゃんにも役割があって、お駄賃ももらったりして、楽しかったですよ。みんなで季節を感じる、そんな体験が少ない今だからこそ、面倒くさいことをあえて伝

えていかなければいけないと思っています」と久井さん。



▲よもぎ畑

よもぎで大原野を元気に♪

大原野で昔から親しまれてきたよもぎ。そのよもぎの魅力を見直し、大原野の活性化に役立てようという「京よもぎ大原野」の活動が本格的に動き出しています。



▲「京よもぎ大原野」プロジェクトの女性メンバー

メンバー大募集!!

「大原野よもぎ倶楽部」では、よもぎを作る人、使う人、広げる人を大募集しています。

問合せ 090-9882-7480 (金清)
facebook 京よもぎ大原野



久井 二三重さん(67)

よもぎ団子の作り方

- ・米粉 300g (お好みで何割かもち粉を足してもよい)
- ・よもぎ (湯がいてフードプロセッサで碎いたもの 粗め、細かめ好みで組み合わせて)
- ・硬めに炊いたあんこ 400g

- ① 米粉を大きめのボールに入れ、少しずつ水を加え、空気を入れながら練る。押しつぶした時に粘土くらいの硬さになるように。ボールの内側の粉がきれいにまとまるように。
- ② 蒸し器の準備をする。水を多めに入れて沸騰させる。上段と中段によくぬらした薄手の布 (日本てぬぐいなど) を敷く。
- ③ ①の生地をだいたい6等分して、上段と中段に平らにして並べ、布で包む。
- ④ ③をよく沸騰している湯の上ののせる。
- ⑤ 30分ほど蒸したら、上段と中段を入れ替える。この時、湯が減っている分水を足すこと！生地の蒸し具合も見てみる。
- ⑥ あと30分ほど蒸す。
- ⑦ 生地が、ツヤがあり柔らかく蒸せていれば、水で冷やす。
- ⑧ 餅箱 (なければ木のまな板など) に生地をあげて、まんべんなくのぼす。
- ⑨ よもぎを混ぜながらこねる。板にくっつかないように水でぬらしながら。
- ⑩ 1個分 (40g) ずつ切り、丸めて氷水で冷やす。
- ⑪ タオルで水気を取り、型を使ってのぼす。
- ⑫ あんこ (20g) をはさんで、お好みできな粉をふりかける。



おはあまから受け継がれた型

← 今回使った2種類の冷凍よもぎは、春日乃茶屋で販売しています。問合せ 075-332-2281



春日乃茶屋・久井さん直伝！ よもぎ団子向き硬めのあんこの作り方



あんこの炊きやすい分量は
小豆500g、砂糖800g、塩少々

- 鍋に水を目一杯入れ、洗った小豆を入れる。蓋をして水から沸騰させ、ザルにあげて湯を捨てる。(2回繰り返す)
- 3回目の湯は2時間小さい火でくつつ炊く。蓋をするのは形を崩れにくくするためとむっちりしたあんにするため。木べらで混ぜる時に、カタカタと当たるとまだ。豆にツヤがあるとまだ。
- ザルに大きめのキメの細かい生地を敷き、②の水分を切る。手で絞こまず、半日かけて自然に絞る。
- ③をからっぽの鍋にあげ、砂糖を加え弱火にかける。水は加えず砂糖の水分だけで炊く。焦げないように混ぜながら。
- 水がしっかり出てきたら、塩を入れる。(春日乃茶屋は塩多めのお味。編集部も多めの大きさ3/4いれました)
- さらに混ぜながら4~5時間で、出来上がり。水分が少ないので、冷蔵庫で日持ちします。

手間をかけた分
美味しさ
間違いなし♡



西京びと



第2号にもたくさんの方々のお力をいただきました！！
ごく一部の方々ですが、『西京じかん』とともに、素敵な笑顔いただきましたよ。
これからも応援よろしくお願いします～

西京ごんな 人みつけ



何かと話題の大相撲。でも、相撲を愛し、真剣に向き合う力士がここにいます。2016年1月に初土俵に立ち、今年の初場所も序二段で土俵に上がっている力士「泉川五右衛門」さん。成人式を迎えたばかりの20歳の若者は、親御さんが区内下津林で理髪店を経営する、れっきとした西

に入り、中高一貫で鍛えられたのちに、東京都練馬区の峰崎部屋に入門。2016年初場所所で出世披露、本名の「塩谷瑠致（塩谷りゅうち）」から「泉川五右衛門」の四股名になりました。



▲土俵に立った時、名前を呼ばれることが多くなった。期待に応えたいです。

目下のところ課題は体重の減少。133キロあったものが、一時は97キロまで落ち

京区ゆかりの力士さんなんです。

泉川 五右衛門さん(20)

小さいころから体が大きかった泉川さんは、早くから子ども相撲を始めました。「小学校5年の時に、わんぱく相撲で優勝して、京都学園相撲部に『来ないか』と誘われました。それが相撲の道に進むきっかけです」と泉川さん。

泉川さんは、初土俵前から故障と闘い続けています。左

ひざと右肩の痛みに悩まされながらも「休場したくない」の

一心から一日も休まず土俵に上がり続け、2年間で最高位は

2017年秋場所の東三段目91枚目。肩は手術したもの、

「ひざは手術すると1年間は休むことになります。休みたくない。手術せず良い結果を出している関取もおられるので

自分も目指したいです」と持ち前の負けず嫌いが生きて、ここまで休場なしです。



▲わんぱく相撲優勝で相撲が大好きに

小学生わんぱく相撲全国大会の京都予選会5年生の部で2008年、11歳の時に優勝。京都学園中学高等学校相撲部



▲貴重なお正月休み、お母さんの経営する理髪店にて

るなどし、現在でも1〜3キロ程度。それでも「嫌いなものを食べるより好きなものを食べます」と、ここにも泉川さんの頑固さが覗きます。「三段目に戻って定着したいです。もっと名前を知ってほしいです」と、柔らかい笑顔で語る泉川さん。初場所は勝ち越し。今後の活躍が期待される郷土力士です。

西京すてぎ発見

ママいろはうす1周年月
フレキシブルに思いをカタチにし続ける



ママの生きかた向上プロジェクト「マミーズアップ」代表、映像記者
坂本景依子さん(41)

お母さんたちが立ちすくんでいる!!

「子育て情報にあふれ、便利なグッズも豊富に揃っている今、お母さんたちは進む方向を見出せないで立ちすくんでいる」

10年ぶりに3人目の子どもを出産した時、坂本景依子さんはそう感じたそうです。「インターネットなどの情報が多すぎて、簡単に調べられる分、自分で解決しなければと考えてしまうのでしょうか。人に頼るといふ選択肢が弱いように思います。私は3人目で余裕もあつたせいか、他のお母さんたちに目がいくようになって、孤独な育児をなくしたいと考えるようになりました」

そんな母親たちのサポートをするため、坂本さんは、2015年ママの生きかた向上プロジェクト「マミーズアップ」を結成。10人ほどのメンバーとともに、母親が充実感や自信を持ちながら生き、子育ても楽しめるようにと、西京区内でのイベントや産婦人科でのママサークルの企画運営、マ

マ向け情報ミニ冊子の発刊のほか、洛西ケーブルビジョンの番組「すてぎhanaコンシェルジュ」の企画を担当するなど積極的に活動しています。

桂駅近くに拠点をオープン

そして、2016年11月、阪急桂駅にほど近い一軒家を活用して「ママいろはうす」をオープンしました。



▲ママいろはうす1周年感謝イベントにて。ミルクをあげているのは坂本さんのお母様ではありません

「母親たちが今の自分から一歩踏み出すこと。まずはリアルに人に会いに行き、自発的に動くことで得られる楽しさを感じて欲しい。そのきっかけとなる拠点を作りたいなど。『ママ』という名称がつくと赤ちゃんを育てているお母さんのイメージがありますが、子ど

ければ今の自分はない、というくらい転機となった出会いです」

変化を楽しめるひとに

坂本さんは、京都府舞鶴市生まれ。京都市内に2011年に引っ越す際、自然が多く四季が身近に感じられる街ということで洛西を選びました。当時はセラピストの資格を活かして、洛西口でリラクゼーションサロンを開業、3人目の妊娠を機に休業。子連れ出勤をしながら同じ女性起業家を支援する活動も行っていました。

妊娠、出産を機に活動内容や立場を変えながら、3人の子育て、仕事をする中で、社会的な課題を見つけると、解決の仕組み作りにはすばやく動いてきた坂本さん。

「環境の変化やいろんな事情で、一つのことを続けられなくなるのが人生にはあると思いますが、それすら楽しめるようになりたいし、子どもたちにもそうなってほしいなと思います。」

ただ、「何ができない理由を『忙しい』という言葉で済ませるのは好きではありません。『忙しい』という字は『心を亡くす』と書きますよね。それは自分に関わってくれる人に対してすくなく失礼なこと」



▲洛西ケーブルビジョンの中尾ディレクター。お仕事も全力で楽しんでいます



▲こんなのもつい撮影するの
で、写真がたまってたまって

洛西初心者です

そんな坂本さんの日々の疲れを癒してくれるのは、洛西の自然。

「洛西高校前のけやき並木や小畑川、息子を保育園に送っていく道で見つける小さな四季の変化など、日常に触れる自然が、自分をリセットしてくれます。四つ葉のクローバーをじーっと探す時間とか(笑)。映像の仕事で初めて訪れる場所も多くて、まだまだ洛西初心者です」

洛西の自然をパワーの源に、母親の一步を応援する坂本さんの日々が続きます。



▲保育園に行く時、3歳の息子がダッシュする道

映像記者へ

マミーズアップの代表とは別に、映像記者という顔も持つ坂本さん。マミーズアップが企画する「すてぎhanaコンシェルジュ」の担当 中尾健祐ディレクターに見出されたのがきっかけとなりました。「マミーズアップの活動は社会貢献で私にとってはライフワーク。映像記者の方はフリーランスとしての仕事という位置付けです。中尾さんがいな



▲ママいろはうす運営担当。マミーズアップ副代表の甲賀 彩香さん(左から2番目)が主に現場の指揮をとりま

れます。2017年11月には1周年を迎え、記念のイベントが開催されました。

ほっとけない西京びとの巻



さく・え 咲良&芽依

西京じかん

の記事になりそうな



ヒト



モノ



場所



写真

大募集

西京のステキ、不思議、不気味…ずっと気になっている謎なスポット、ヒト、物体を調べてほしいなど編集部におまかせください！西京区の食材で作った料理「西京めし」を紹介してくださる方も絶賛募集中です。ご応募・お問い合わせの際は、お名前、ご住所、ご連絡先のメールアドレス、電話番号を明記ください。※採用・不採用ともに情報資料、写真などの返却はできません。

情報提供や各応募、広告の申し込み等、すべてのお問合せは「西京じかん」編集部まで！

〒615-8265 京都市西京区山田御道路町 3-37
FAX 075-320-2597 メール nishikyo.jikan@gmail.com

西京じかん 応援団 大募集 ▶ 毎号ご希望部数の「西京じかん」をお届けいたします。◀

次号がでるかはみなさま次第!?「西京じかん」の応援団を募集しています。

【個人応援団】年会費 3,000円/一口 【企業・団体応援団】年会費 10,000円/一口

広告大募集

企業・店舗のPRや教室のご案内等、「西京じかん」に掲載しませんか。サイズはご希望・ご予算に応じて調整いたします。1行広告も募集しています。

【編集後記】

おかげさまで第8号を発行することができました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

【表紙について】「西京つどいびと」に登場いただいた「オー・フィールド ウクレレ&フラ」のみなさん。踊り、音楽、そしてみなさんの笑顔に元気をいただく取材となりました。癒しのひとときをありがとうございました♪



にしきょうわらしべ

みんなが知ってる「わらしべ長者」現実の世界でやってみたら…?

西京じかんで「わらしべ長者」をやってみたら、どんなモノに交換されていくのでしょうか？前回応募いただいた『雑貨店おやつへようこそ 小さな店の作り方 つづけ方』の本は、さてさて何に交換されたのでしょうか???

ナニナルカナ? ナニナルカナ?



この本は2冊目。お店づくりなど参考になることが多くて、カフェにも置いて、お客様にも読んでいただき、いろいろお話できたらいいなと思います。



今回「にしきょうわらしべ」として交換いただいたお品は、榎原の『まちやカフェ チャーミーチャット』の「まちまちゃランチ デザートセット券」(1700円相当)。季節の野菜を活かした、見た目も美しいボリューム満点のおばんざいランチです。マスターこだわりのハンドドリップコーヒーも味わってくださいね〜。(前日までに要予約。メニューは2週間で入れ替わります。写真は一例)

応募方法

交換対象品の説明と画像(物はまだ送らないでください)、お名前、ご連絡先を編集部まで送ってください。(メール、郵送どちらでも可) 応募くださった方の中から編集部が交換対象品を選び、ご連絡いたします。フェイスブック(https://facebook.com/nishikyojikan/)からも応募できます。

応募先

西京じかん編集部 〒615-8265 京都市西京区山田御道路町 3-37
Fax 075-320-2597
E-mail nishikyo.jikan@gmail.com

応募締切

2018年
7月31日(火)
必着

応募資格・ルール

わらしべには応募資格があります。ズバリ「西京区にゆかりのある方」です!例えば、西京区に住んでいる、西京区の職場、学校、施設に通っている。西京区出身。好きな人が西京区にいる。西京区に行く心がおどる。とにかく西京区が好き!ってことが条件です。



わらしべ人 中村夫妻(左:政美さん(60)、右:行夫さん(64))

榎原で「まちやカフェ チャーミーチャット」を経営するお二人。建物は築120年以上(!!)のご自宅なんです。店内には手作りの雑貨コーナーもあり、イベントスペースとしても賑わいます。

きょうと子育て応援パスポートアプリ



いつでもいっしょ!おでかけのおまもり



こんな情報をカンタン検索!

プレゼント

ポイントで素敵なプレゼントが当たる

トイレ

おむつ替えしたい!

あそびば

無料スポット 親子カフェ など

パスポート

提示で無料や割引サービス約3,900店舗

SOS

急病・ケガも安心



まもっぷを使うには

- 1 まずはアプリをダウンロード
「まもっぷ」で検索、もしくは右のQRコードから
- 2 アプリを起動
新規ユーザー登録をしてログイン ログイン画面へ

必要事項の入力

利用規約に同意

登録完了

めっちゃかんたんやんか



子育て応援! 協賛企業募集中

協賛申込みフォーム

お問い合わせ

きょうと子育て 応援事業推進委員会

事務局:京都市健康福祉部 子ども総合対策課内

☎075-414-4602

メール:kodomo@pref.kyoto.lg.jp

©京都市 まゆまる 2956036



まもっぷホームページ <http://mamop.jp>

ANDROID APP ON Google play

Available on the App Store



今号の
「西京吹き矢の旅」
まわったのは
桂徳～桂東学区
桂清水町周辺!



西京区って意外と広い?自然あふれる西山は隠れた名所がたくさん。

西京探索マップ